

◆主題名 **お互いを認め合う**

内容項目	B (9)	相互理解、寛容
価値項目	1・2 3 ・4	いろいろなものの見方や考え方があることを理解する。
教材名・出典	自分だけ「余り」になってしまう・・・	
本時のねらい	いろいろなものの見方や考え方があることに気づき、寛容の心をもって謙虚に他社から学ぼうとする態度を育てる。	

中心となる発問を主題につなげるために必要な発問

導入	グループ分けの時、余りになって困ったことはありますか？
①	好美さんの悩みを整理してみよう。
②	重松さんの話を聞いて、寂しさを感じている好美さんは納得できるだろうか？
③	余りの人を分かち合うとはどういうことだろう？

◆テーマ (中心となる発問) **お互いに認め合って生きていくために大切なことは？**

ねらいとする価値に迫るために・・・

◆学び合う 活動のねらい 変容をねらう 多様さに気づかせる **考えを深めたり広げたりする** その他 ()

学び合う活動のスタイル

1 Pw	2 Gw	3 Fw	4 Cw	5 その他 ()
------	------	-------------	------	-----------

◆最後の振り返り この時間を通しての「本音」が聞けるように！

授業後の反省

○クラスでの身近なあるあるを取り上げた題材です。
生徒たちは、集団の中でグループを作る際に、「余り」になることに不安に思う傾向が強いと思います。この教材を通して、友達の気持ちを考える行動が取れたり、1人になる勇気をもてたら素晴らしいと思います。

○素直に自分事として考えることができていると思います。身近な話題なだけに、「これからは周りを見て行動できる人間になりたい」や「自分のクラスではみんな仲良くできてこのクラスでよかった」など自分に落として考える生徒が多かった。今後の生活に生かしてもらえたら嬉しいで